

新庁舎のこれまでの検討経緯と 宇部市の現状について

新庁舎建設に向けた検討経緯

段階を踏みながら具体的に

基本構想 平成27年3月策定



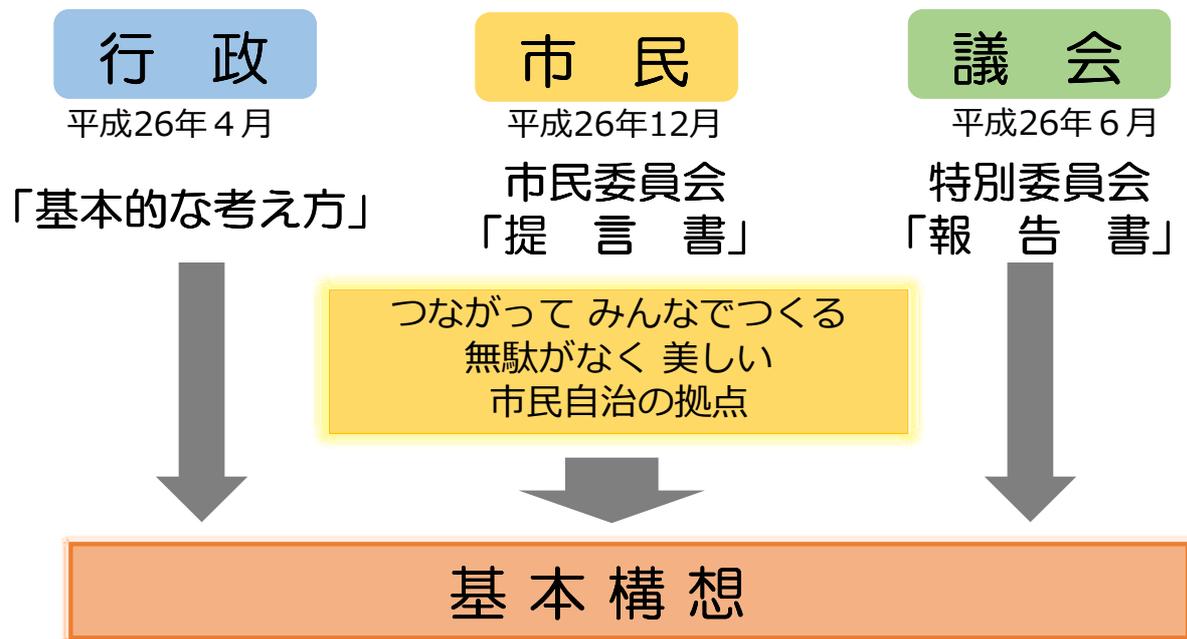
基本計画 平成28年8月策定



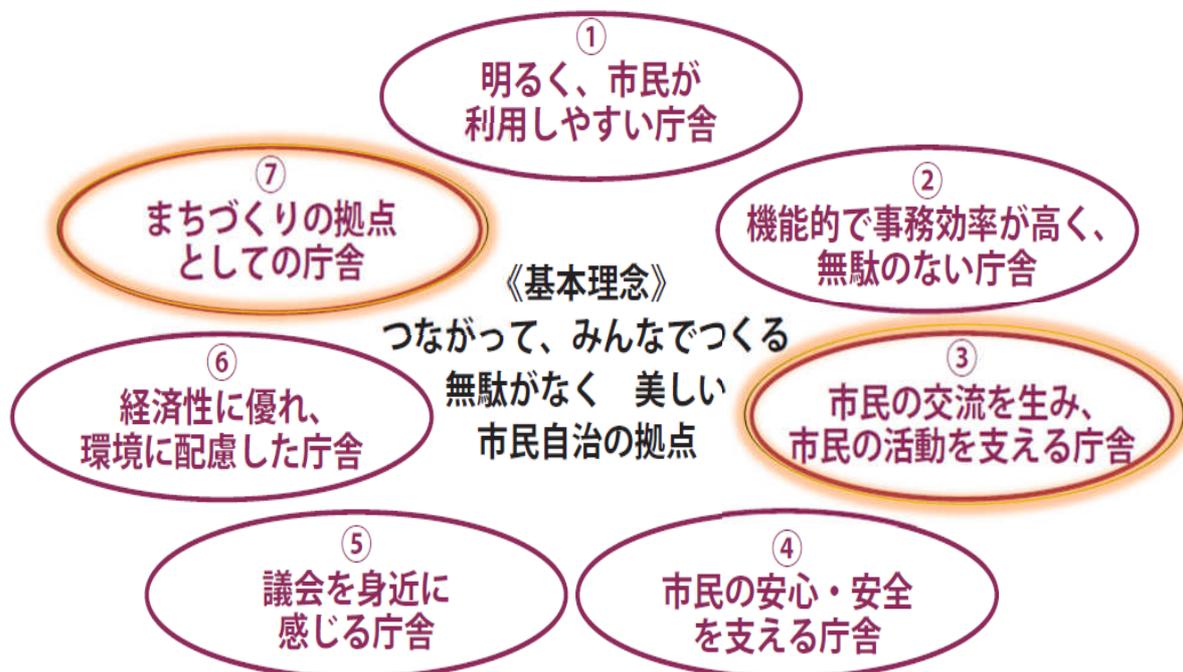
基本設計 平成30年3月策定

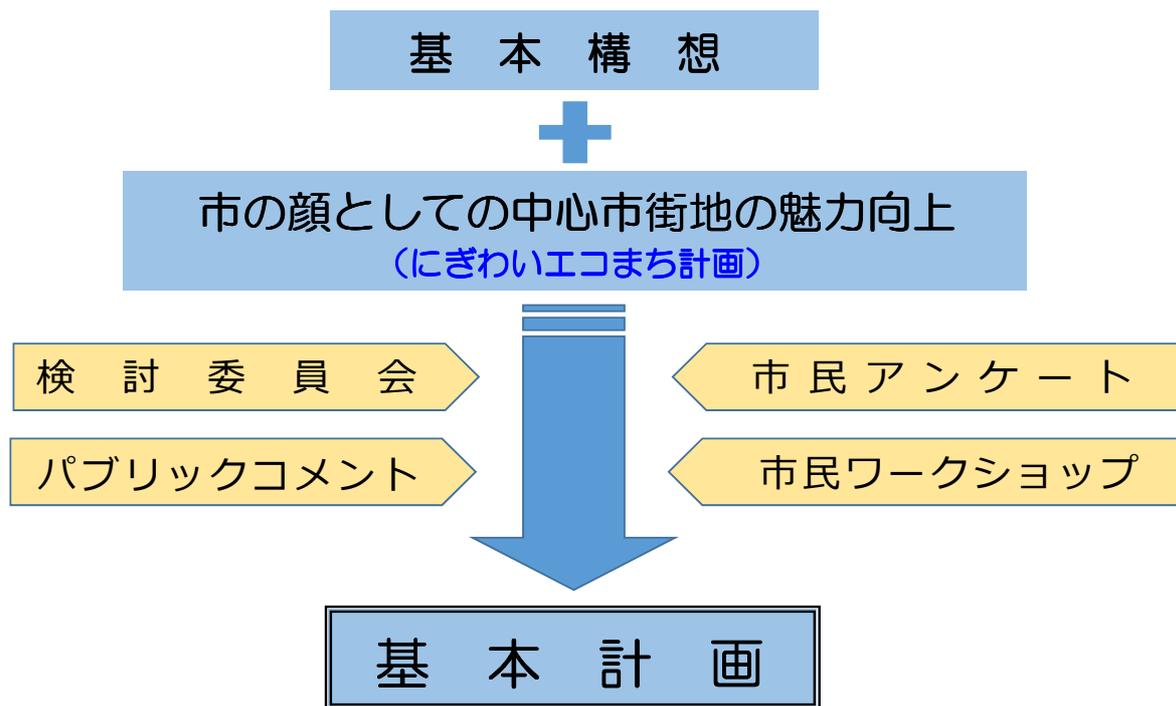


実施設計 平成31年3月策定

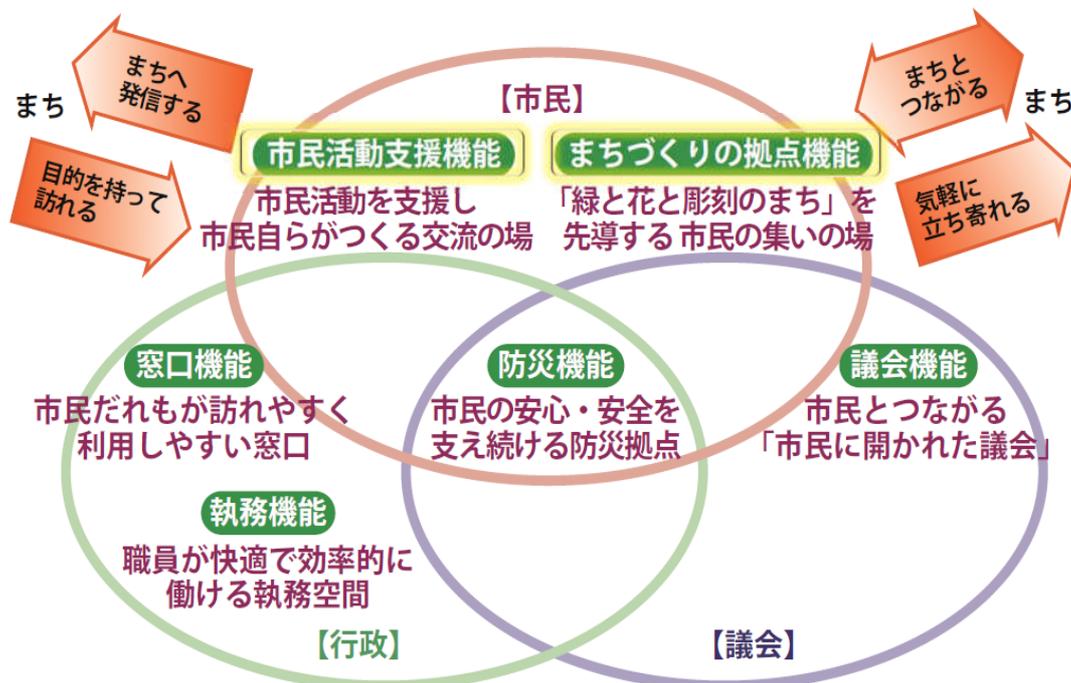


■基本理念と7つのコンセプト





■導入すべき「機能」



市民交流・協働を支え、宇部市民みんなに愛され
つくりあげられる場

「市民活動支援機能」

～市民自らがつくる交流の場～

- ◆情報発信コーナー
- ◆多目的ホール
- ◆市民共用会議スペース



「まちづくり拠点機能」

～市民集いの場～

- ◆庁舎前広場(イベント)
- ◆バス待合スペース
- ◆飲食・休憩スペース



基本計画

設計方針：2棟構成の庁舎
◀ 1期棟 ▶ 庁舎機能（行政・議会機能）
◀ 2期棟 ▶ 庁舎機能（エントランス・会議室・食堂など）
市民活動支援機能、まちづくり拠点機能

基本設計協議会

パブリックコメント

市民ワークショップ

基本設計

2期棟の活用方法を市民ワークショップで検討

《意見》

【市民活動交流コーナー】

◆複数の機能を兼ねた場にしたい！

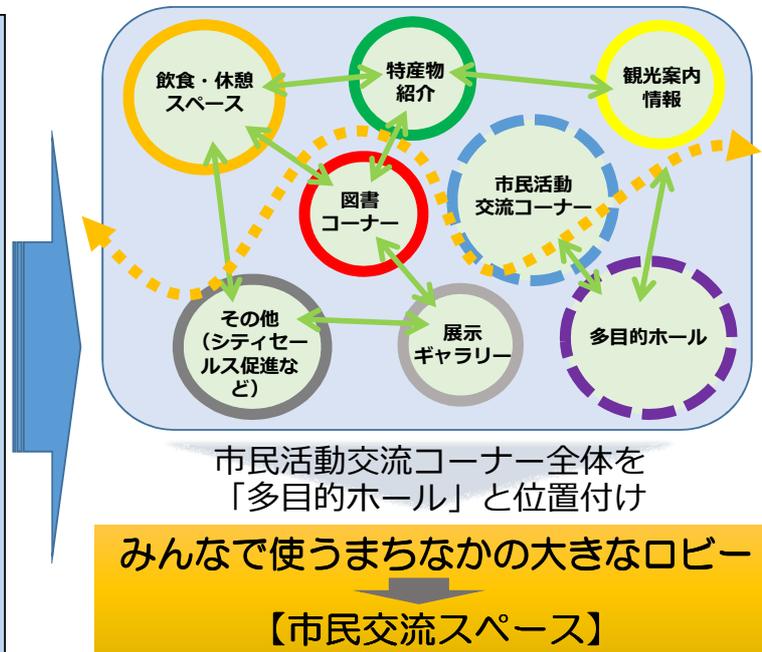
◆ある程度の広さが必要！

【多目的ホール】

◆本格的なホールがよい！

◆他の施設があるので無駄！

意見が二極化



実施設計のとりまとめ

基本設計

青少年会館の一部機能を移転(追加)

市民活動センター運営団体へのヒアリング

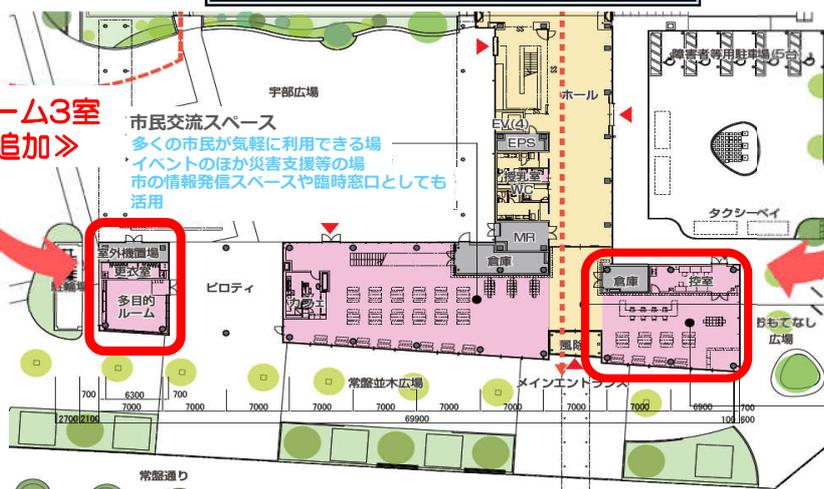
実施設計

《多目的ルーム3室(防音室)を追加》

市民交流スペース
多くの市民が気軽に利用できる場
イベントのほか災害支援等の場
市の情報発信スペースや臨時窓口としても活用

《市民活動支援スペース(控室)を拡大》

市民活動支援スペース
市民活動団体やボランティア
団体等の活動の場



宇部市を取り巻く現状

中心市街地の状況の変化

- ◆旧山口井筒屋宇部店の閉店→市が取得・活用（現トキスマ）
- ◆旧レッドキャベツの閉店→民間店舗として復活

新型コロナの拡大
（生活様式の変化、
財政負担の増大）

公共施設マネジメント
（市全体としての総量縮減）

2期棟のあり方の再検討が必要

2期棟のあり方を再検討

拡大

縮小

見直しの方向性

現状維持

廃止

2期棟のあり方を再検討

「縮小」・「現状維持」の視点

縮小

- ◆ 規模縮小・・・面積を小さく
- ◆ 機能縮小・・・一部機能を見直し
(他施設への機能移転等)
- ◆ コスト縮減・・・吹抜け等仕様の見直し

現状維持

- ◆ 他の公共施設機能を2期棟へ集約することで、市全体としては縮小